

## 目 次

I	経過報告	3
II	発見と処遇	
1.	現状と問題点—その改善のために—	9
2.	実態の調査と分析	
(1)	重度・重複障害児の実態	14
(2)	幼稚園の実態	25
3.	ケースを中心として	
(1)	地域とのかかわりの中で(T・K君の場合)	31
(2)	重複障害児の事例(A君の場合)	40
(3)	3才の情緒障害児(F君の場合)	46
4.	早期発見の試行—聴覚障害について—	52
III	発達の評価	
1.	障害児の全体像の把握	58
2.	障害別の発達チェック・リストの試み	
(1)	自閉症児について	77
(2)	構音発達の予測テスト	88
IV	教育実践	
1.	視覚障害教育	
	盲乳幼児の歩行環境認知能力の発達	99
2.	聴覚障害教育	
(1)	聾学校幼稚部教育の構造化	108
(2)	幼稚園における難聴児の指導	139
3.	精神薄弱教育	
	精神薄弱幼児の指導事例	147
4.	肢体不自由教育	
	学習障害をもつ脳性マヒ幼児に対する教育内容の研究	154
5.	病弱教育	
	病弱児の指導について	162
6.	情緒障害教育	
	ある自閉症児の事例—発見から就学までの関係者のかかわり—	171
V	アメリカにおける障害児の早期教育	182
VI	障害児の早期教育に関する文献目録	208